

○自ら学び自ら考える子（なるほど） ○お互いを認め合う子（いいね） ○心身共に元気な子（しっかり）

北大和小だより 10月号

令和4年9月29日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



「よりよく過ごすための『しかけ』」

昨年は9月末で緊急事態宣言がなくなり、比較的落ち着いた10月・11月に修学旅行をはじめとした行事が実施されました。今年、緊急事態宣言は出ていないものの、感染対策をしながら、感染者数の減少傾向を見て感染の収束を期待しているところです。

そのような現状ではありますが、先日、1年生がこどもの国に遠足に行き、それをはじめとして、10月・11月には遠足や修学旅行・宿泊移動教室などの校外行事を多く予定しております。また、展示参観形式の「北小ミュージアム」として昨年同様に学級ごとに学習の成果を発表し合う交流行事も予定しており、その準備を含め「自分たちで考えて協力して取り組む学習の場」を計画し準備を進めています。

学校は学力だけではなく生活力や人間力を高めていく場であり、行事に向けた取り組みはもちろん、日常の生活の中で成長が期待できる「しかけ」を教育活動として展開していきます。失敗しながらも自分で考えて行動することで、力が伸び、成長していくと考えています。

さて、最近、自分で考えて行動し、校長室にも相談に来る児童が増えました。それは6年生の総合的な学習で「北大和小への恩返し！＝北大和小学校をよりよい学校にしよう＝」という学習単元で、様々な人へのリサーチの一環で「校長室で聞いてみよう」となっているのだそうです。「校長先生、学校で課題だと思えることは何ですか」「どのような取り組みが必要だと思いますか。」「落書きができる場所を作りたいのだけどどう考えますか」と真剣な表情とちょっと緊張した表情の中に自分で考えて行動している高揚感が感じられ、嬉しく思いました。質問には、想いを褒めるとともに「他の学年の児童が楽しめる何か」「黙食の給食時間に何か」「フラワープロジェクトのような心が明るくなる何か」「休み時間に半分しか外で遊べないので体力アップに何か」などのアイデアの「何か」を考えられる助言や「落書きの場所を作るとして気をつけることは何だろう」など実現に向けた「課題」を考えられるような回答を心掛けています。今後、仲間と相談して創造した「よりよく過ごすための『しかけ』」が楽しみです。 校長

【体育館工事が進んでいます】

体育館の工事が進んでいます。基礎の上に、体育館の骨組みが現れ、体育館の全体像が見えてきました。先日までの二つの台風が工事に影響しないようにと祈りながら見守ってきましたが、大きな影響はなく安心しました。今後も工事が無事に進んでいくことを期待しています。

